
社会イノベーション事業を支える日立の知財戦略
－ 競争＋協創へ －

2015年4月15日

株式会社日立製作所
知的財産本部長

鈴木 崇

Contents

- 1. 知財の役割の拡大**
- 2. グローバルな知財力の確保**
- 3. 競争戦略/協創戦略への貢献**

社会イノベーション事業で世界に答える日立へ

プロダクト・サービス

社会イノベーション事業

Let's make it happen with the Power of Patents

競争戦略 (Competition)

参入障壁構築に知財力を活用
→3-2、3-3

協創戦略 (Co-creation)

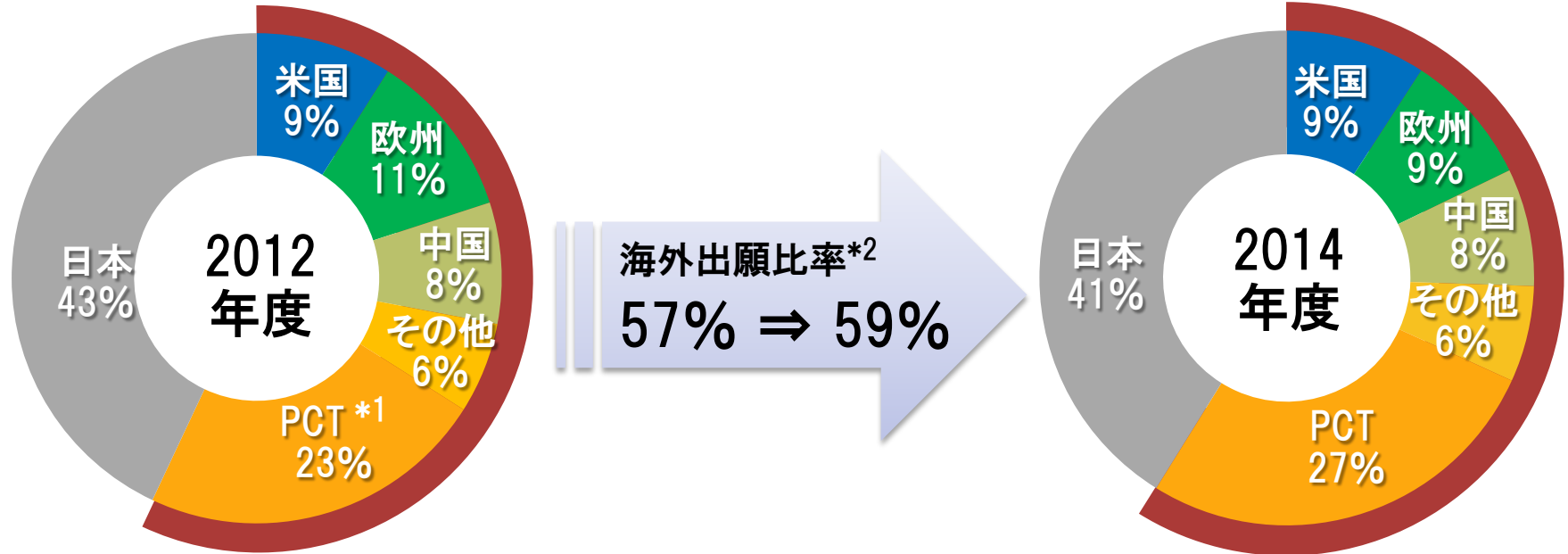
パートナーシップ促進に知財力を活用
→3-4、3-5

グローバルに知財力を確保(知財権の取得、ノウハウの特定・管理)
→2-1、2-2

知的財産権本部 ⇒ 知的財産本部 (15/4～)

2-1 グローバルに知財力を確保(1)

潜在顧客にグローバルかつ柔軟に対応するためPCT出願を活用



PCT: Patent Cooperation Treaty
*1 1出願で多数国出願の効果が得られる。

*2 海外出願比率 = 海外特許出願件数 / W.W.での特許出願件数
PCT出願は想定権利化国数に換算して計算

トムソン・ロイター社TOP100グローバル・イノベータ・アワードを4年連続受賞

2014 THOMSON REUTERS
TOP 100
GLOBAL INNOVATORS

◆トムソン・ロイター社の特許データを基に、
世界の革新企業/機関に贈られる

2-2 グローバルに知財力を確保 (2)

競合他社に引けを取らない規模でグローバルに Power of Patents を構築中

日立グループ 2014年公開特許件数 (米国は登録特許件数)*

日本公開			米国登録			PCT公開			中国公開			欧州公開		
	企業Gr	件数		企業Gr	件数		企業Gr	件数		企業Gr	件数		企業Gr	件数
1	日立	8,300	1	IBM	7,600	1	日立	2,400	1	日立	2,000	1	Siemens	2,100
2	東芝	6,900	2	東芝	3,000	2	Siemens	2,200	2	Siemens	1,900	2	GE	1,000
3	三菱電機	5,200	3	GE	2,200	3	三菱電機	1,600	3	東芝	1,300	3	日立	700
4	三菱重工	2,300	4	日立	2,100	4	東芝	1,000	4	IBM	1,300	4	東芝	600
5	GE	900	5	Siemens	1,900	5	GE	900	5	三菱電機	1,200	5	三菱電機	500
6	Siemens	300	6	三菱電機	900	6	三菱重工	600	6	GE	1,200	6	三菱重工	400
7	IBM	300	7	三菱重工	400	7	IBM	500	7	三菱重工	300	7	IBM	100

*日立の競合を抜粋して特許公開/登録件数をランキング。Shareresearch, Patolis, IFIPAT/Questel-orbit, Pat-List/CN に基づく当社調査、ランキングは四捨五入前の件数で記載

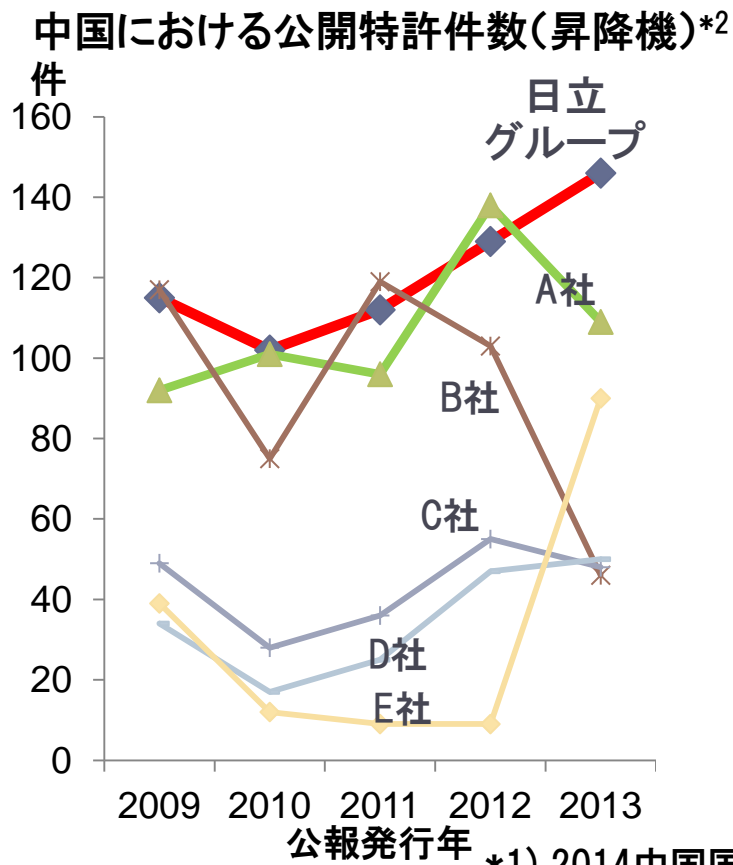
社会イノベーション事業への対応



<p>知財活動の目的</p>	<p>参入障壁の構築</p>	<p>パートナーシップの促進</p>
<p>主な知財活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 差別化ポイントの知財権取得 (2) 競合に対し、 <ul style="list-style-type: none"> • 知財権で追従を牽制・排除 • 特許料収入を獲得 (3) 競合知財リスクの低減 	<ul style="list-style-type: none"> (1) パートナー訴求ポイントの知財確保 (2) パートナーに対し、 <ul style="list-style-type: none"> • 日立知財利用を通して協創を促進 (3) パートナー知財の適切な取扱い

3-2 競争戦略への貢献:昇降機

- 主要市場である中国で特許網を強化
- 昇降機世界最大級の展覧会*1で、広州周大福金融中心に納入予定の世界最高速の技術の特許も用いてアピール



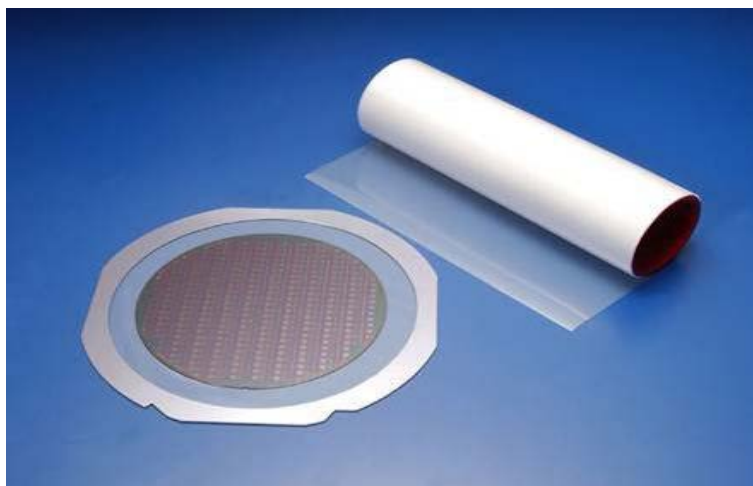
広州周大福金融中心
(完成予想図)



*1) 2014中国国際電梯展覧会 *2) Shareresearchによる当社調査

- 特許の存在を競合と顧客にアピール
- 特許権被疑侵害者には警告、提訴

競合の追従
を牽制、阻止



ダイボンドダイシングフィルム

【ダイボンドダイシングフィルム】
半導体ウェハをチップに切り分けるときにワークに
ウェハを固定するダイシングテープの機能と、
切り分けられた半導体チップを基盤に接着する
ダイボンディングフィルムの機能とを併せ持つ
一体型フィルム

新聞発表を含む特許等の広報活動
→①競合を牽制、②顧客へアピール

特許権被疑侵害者発見

知財権の尊重を求め警告⇒提訴*

*)両社合意により、日立化成は訴訟を取下

3-4 協創戦略への貢献:技術力により顧客に訴求

- ビッグデータ関連技術の特許網をグローバルに構築
- 特許に裏付けられた技術力をお客様にアピールして協創を促進

ビッグデータ関連技術出願人ランキング(日米欧中韓合計、日本国特許庁調べ)

■全体

順位	出願人	出願件数
1	IBM*1	1,967
2	日立製作所	1,682
3	マイクロソフト*1	1,130
4	富士通	610
5	NTT	548

■技術分野別

分析基盤技術*2

順位	出願人	出願件数
1	日立	1,217
2	IBM	658
...

ストリーム系分析技術

順位	出願人	出願件数
1	IBM	108
...
3	日立	71

ストック系分析技術*3

順位	出願人	出願件数
1	IBM	1,309
...
3	日立	442

出典:平成25年度「特許出願技術動向調査報告書(ビックデータ)」特許庁編

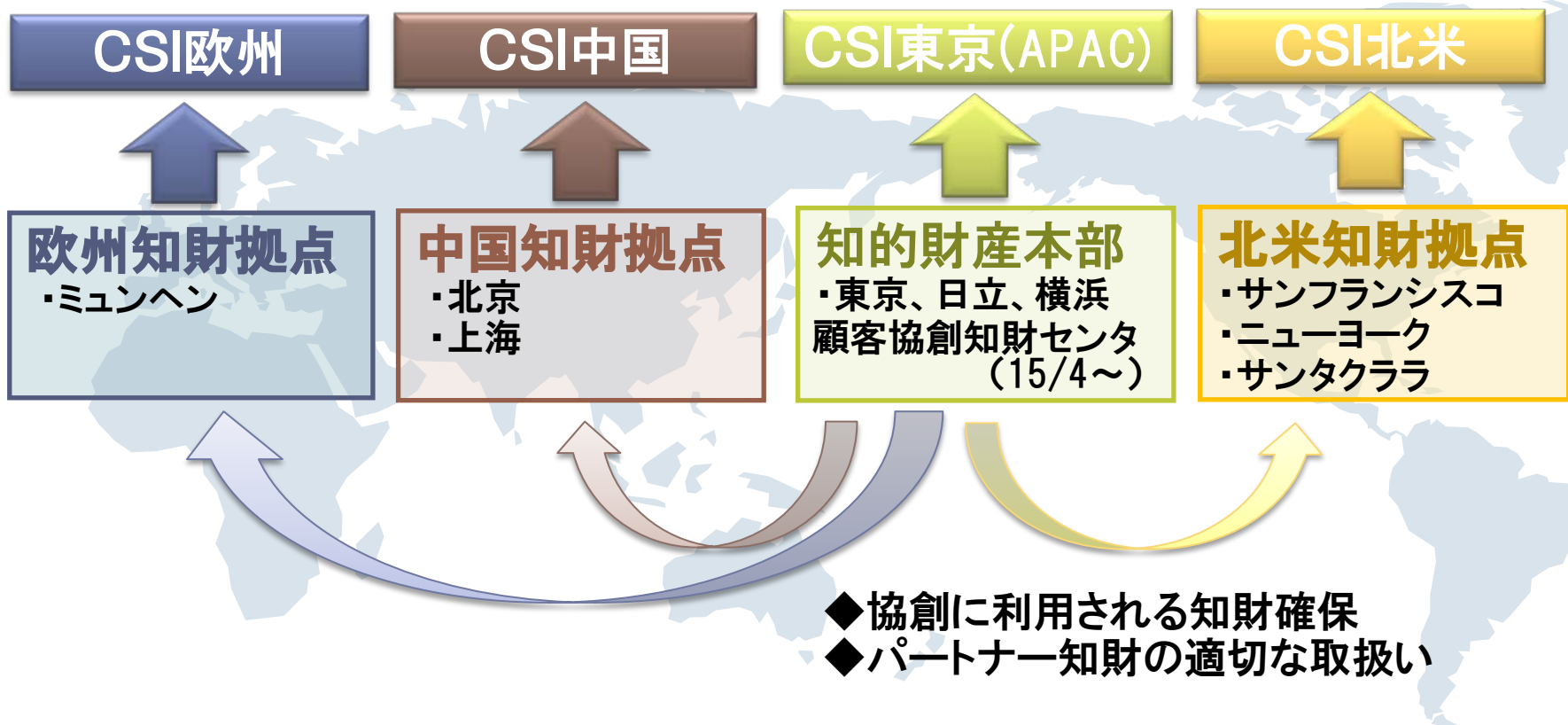
*1: 米国法人

*2: 分散ファイルシステム/DB、プライバシー保護、分散並列処理システム、データ改ざん防止、その他の分析基盤技術

*3: ストック系データ前処理技術、解析対象DB、データ解析技術の合計

3-5 協創戦略への貢献:グローバルな知財支援

- 各極の協創活動をローカル知財拠点から支援
- 日本から知財プラクティスを展開



CSI: Global Center for Social Innovation 社会イノベーション協創センタ
APAC: Asia Pacific

END

社会イノベーション事業を支える日立の知財戦略
— 競争＋協創へ —

2015年4月15日

株式会社 日立製作所
知的財産本部長

鈴木 崇

HITACHI
Inspire the Next